

ひと

ドクターヘリ導入に取り組み救命救急医

益子 邦洋さん(72)



茨城県出身。日本医科大学卒。同大
千葉北総病院副院長などを経て20
14年から南多摩病院院長。

ドクターヘリがなかった東京、
福井、香川の3都県で、2022
年4月までに導入されることが決
まった。人気ドラマ「コード・ブ
ルー」ドクターヘリ緊急救命一
(フジテレビ系)の医療監修も手
掛けるなど救命救急医として導入
を訴え続けてきただけに、「よう
やく全ての都道府県に配備され
る」と感慨にふける。

ドクターヘリの必要性を痛感し
たのは千葉県印西市の日本医科大学
千葉北総病院に勤務していた19
97年。交通事故で負傷し、搬送
されてきた20代男性の命を救えな
かった。事故現場は病院から約40
キロ離れ、来院時は手遅れだった。
「どうすれば男性は助かったの
か」。頭に浮かんだのは85年に留

学した米ミネソタ州で見たドクタ
ーヘリだった。上司らに必要性を
訴え、01年に千葉県などの病院で
国内初の導入にこぎつけた。だが
「音がうるさい」「墜落の危険が
ある」との声があり、思うように
普及しない。頼ったのが元警察庁
長官の国松孝次さん(83)だった。

95年3月に国松さんが狙撃され
た事件で治療に当たって以来の
縁。03年に認定NPO法人「救急
ヘリ病院ネットワーク」の理事長
に就任してもらい、一緒に政治家
に働きかけた。国などの補助金を
規定した特別措置法が07年に成立
し、普及が加速した。

今年8月には、買い物に訪れた
東京都人王子市で意識を失った20
代男性に心臓マッサージを施し、
救助したことも。「一人でも多く
の命を救いたい」。今も初心を忘
れずに持ち続けている。

文と写真・鈴木拓也

2020・10・30